



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 ソレキア株式会社  
 コード番号 9867 URL <http://www.solekia.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 義和

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 宮崎 雅司

TEL 03-3732-1132

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	9,241	1.0	59		66		169	
29年3月期第2四半期	9,154	6.6	21		34		38	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 182百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 32百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	195.53	
29年3月期第2四半期	44.73	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	11,802	5,854	49.6
29年3月期	12,614	5,727	45.4

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 5,854百万円 29年3月期 5,727百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				50.00	50.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	5.6	280	8.1	290	11.5	280	97.9	322.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	1,016,961 株	29年3月期	1,016,961 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	152,139 株	29年3月期	149,679 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	865,412 株	29年3月期2Q	868,112 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	2
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	四半期連結財務諸表及び主な注記	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
	四半期連結損益計算書	
	第2四半期連結累計期間	6
	四半期連結包括利益計算書	
	第2四半期連結累計期間	7
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
	(継続企業の前提に関する注記)	9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
	(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
	(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き安定した円安・株高傾向や雇用の拡大を背景に、個人消費が底堅さを増し、企業業績も海外経済の緩やかな成長に伴い、製造業では半導体・電子部品、自動車を中心に幅広い業種で生産が増大し、輸出も米国やアジア向けに高水準が継続、非製造業でも建設関連やインバウンド需要が堅調を維持するなど、緩やかな回復基調が続きました。

企業のICT投資につきましては、IT基盤の整備・充実など戦略投資への意欲の高まりの他、ビジネスプロセスの大幅な改善につながるIoT(モノのインターネット)、AI(人工知能)、ビッグデータ、ロボティクスなどのデジタルテクノロジーの進展もあり、企業や社会が抱える課題の解決への寄与が期待されておりますが、需要の本格的な増大には至っておりません。

このような経営環境のもと、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は、関西地区の公共商談や東北地区のヘルスケア商談が前年同期を下回ったことや海外自動車メーカー向け半導体の需要減により情報通信機器、電子デバイスの売上が減少しましたが、システム開発案件の受注は堅調に推移し、92億41百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

損益面につきましては、システムエンジニアやフィールドサービスの稼働が向上したことにより営業利益は59百万円(前年同期は21百万円の営業損失)、経常利益は66百万円(前年同期は34百万円の経常損失)となり、投資有価証券売却益(特別利益)の計上により親会社株主に帰属する四半期純利益は1億69百万円(前年同期は38百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

「首都圏」は、システム開発案件の受注が増大しましたが、情報通信機器、電子デバイスは前年同期並みにとどまり、売上高は53億3百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

損益面につきましては、販売費及び一般管理費の増加により、営業損失5百万円(前年同期は1百万円の営業利益)となりました。

「東日本」は、フィールドサービスの売上は増加しましたが、前年同期には大口の電子カルテ商談のあったヘルスケア商談は減少し、売上高は20億52百万円(前年同期比0.2%増)となりました。

損益面につきましては、フィールドサービスとシステム部門の稼働向上により、営業利益1億7百万円(前年同期比79.1%増)となりました。

「西日本」は、前年同期に比べ公共向けの情報通信機器商談が減少したもののシステム開発の売上が増加し、売上高は18億29百万円(前年同期比1.2%増)となりました。

損益面につきましては、システム部門の稼働向上と販売費及び一般管理費の減少により、営業利益87百万円(前年同期比210.7%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、8億11百万円減少し、118億2百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が1億72百万円、電子記録債権が1億円、仕掛品が47百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が9億63百万円減少するなど、流動資産が8億円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、9億38百万円減少し、59億48百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が8億79百万円減少するなど、流動負債が9億4百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億26百万円増加し、58億54百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が1億25百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、1億72百万円増加し、36億73百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、87百万円（前年同期比1億42百万円減）となりました。その主な要因は、仕入債務の減少額8億78百万円、投資有価証券売却益1億75百万円、法人税等の支払額1億17百万円などによる資金の減少があった一方、売上債権の減少額8億61百万円、税金等調整前四半期純利益2億41百万円、たな卸資産の減少額1億1百万円などによる資金の増加があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果増加した資金は、1億43百万円（前年同期は20百万円の減少）となりました。その主な要因は有形固定資産の取得による支出38百万円などの資金の減少があった一方、投資有価証券の売却による収入1億88百万円による資金の増加によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、56百万円（前年同期は31百万円の増加）となりました。この主な要因は、配当金の支払額43百万円などによる資金の減少があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年6月29日の「投資有価証券売却益（特別利益）の計上及びこれに伴う業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました平成30年3月期の通期連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,501,093	3,673,876
受取手形及び売掛金	5,351,901	4,388,025
電子記録債権	150,485	251,469
商品	910,277	761,503
仕掛品	81,032	128,141
その他	228,001	218,351
貸倒引当金	△1,952	△972
流動資産合計	10,220,838	9,420,396
固定資産		
有形固定資産	1,098,108	1,109,967
無形固定資産	86,386	72,561
投資その他の資産		
投資有価証券	317,745	329,617
敷金及び保証金	453,437	452,981
繰延税金資産	377,521	358,242
その他	66,757	65,304
貸倒引当金	△6,646	△6,633
投資その他の資産合計	1,208,814	1,199,512
固定資産合計	2,393,310	2,382,041
資産合計	12,614,148	11,802,437
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,122,461	2,243,358
短期借入金	1,114,142	1,114,547
未払法人税等	150,556	60,908
賞与引当金	366,500	346,300
その他	623,733	708,034
流動負債合計	5,377,394	4,473,148
固定負債		
長期借入金	50,000	50,000
役員退職慰労引当金	89,246	89,246
退職給付に係る負債	1,304,235	1,270,004
資産除去債務	65,298	65,742
固定負債合計	1,508,781	1,474,993
負債合計	6,886,175	5,948,142

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,293,007	2,293,007
資本剰余金	2,359,629	2,359,629
利益剰余金	1,252,846	1,378,692
自己株式	△252,353	△265,176
株主資本合計	5,653,129	5,766,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,492	115,107
為替換算調整勘定	△23,648	△26,965
その他の包括利益累計額合計	74,844	88,141
純資産合計	5,727,973	5,854,294
負債純資産合計	12,614,148	11,802,437

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	9,154,118	9,241,603
売上原価	7,569,678	7,569,760
売上総利益	1,584,439	1,671,842
販売費及び一般管理費	1,606,006	1,612,468
営業利益又は営業損失(△)	△21,566	59,374
営業外収益		
受取配当金	8,264	5,044
その他	6,529	6,253
営業外収益合計	14,794	11,297
営業外費用		
支払利息	3,352	3,747
為替差損	23,608	-
その他	734	878
営業外費用合計	27,695	4,626
経常利益又は経常損失(△)	△34,467	66,045
特別利益		
投資有価証券売却益	10,530	175,702
特別利益合計	10,530	175,702
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△23,937	241,747
法人税、住民税及び事業税	15,831	44,180
法人税等調整額	△935	28,357
法人税等合計	14,895	72,537
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△38,833	169,210
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△38,833	169,210



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△38,833	169,210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,214	16,615
為替換算調整勘定	10,670	△3,317
その他の包括利益合計	6,456	13,297
四半期包括利益	△32,377	182,507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△32,377	182,507

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△23,937	241,747
減価償却費	47,866	47,368
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△985	△994
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,300	△20,200
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△33,680	△34,213
受取利息及び受取配当金	△9,087	△5,434
支払利息	3,352	3,747
投資有価証券売却損益(△は益)	△10,530	△175,702
売上債権の増減額(△は増加)	620,947	861,641
たな卸資産の増減額(△は増加)	△54,134	101,490
仕入債務の増減額(△は減少)	△286,262	△878,081
未払消費税等の増減額(△は減少)	△46,832	60,626
その他	36,407	1,397
小計	258,422	203,394
利息及び配当金の受取額	8,556	5,299
利息の支払額	△3,285	△3,729
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△33,963	△117,943
営業活動によるキャッシュ・フロー	229,730	87,020
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△1,080	△1,080
投資有価証券の売却による収入	-	188,702
有形固定資産の取得による支出	△17,582	△38,265
ソフトウェアの取得による支出	△2,101	△6,307
敷金及び保証金の差入による支出	△1,120	△393
敷金及び保証金の回収による収入	1,887	810
その他	△502	434
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,499	143,900
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	75,587	-
自己株式の純増減額(△は増加)	△275	△12,822
配当金の支払額	△43,409	△43,364
財務活動によるキャッシュ・フロー	31,902	△56,186
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,931	△1,951
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	231,201	172,782
現金及び現金同等物の期首残高	3,230,779	3,501,093
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,461,980	3,673,876

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,217,534	2,048,633	1,806,931	9,073,100	81,018	9,154,118
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,069	—	259	6,329	185,632	191,961
計	5,223,604	2,048,633	1,807,191	9,079,429	266,650	9,346,080
セグメント利益又は損失(△)	1,642	59,879	28,097	89,618	△10,732	78,886

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	89,618
「その他」の区分の利益	△10,732
セグメント間取引消去	212
全社費用(注)	△100,664
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△21,566

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,303,565	2,052,960	1,829,169	9,185,695	55,907	9,241,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,215	—	737	19,952	139,732	159,685
計	5,322,780	2,052,960	1,829,906	9,205,647	195,640	9,401,288
セグメント利益又は損失(△)	△5,000	107,222	87,310	189,532	△14,940	174,591

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	189,532
「その他」の区分の利益	△14,940
セグメント間取引消去	413
全社費用(注)	△115,631
四半期連結損益計算書の営業利益	59,374

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。